

私、一人ひとりの自覚が促される日となることを願う。

親鸞聖人七百五十回御遠忌を機に、その縁の深きことに思いを起し、私自身のあり方を改めて見つめ直していかうではないか。

現世利益の世界に心を砕き、迷い続けている私たちへのメッセージに耳を傾けていく機会にしていかうではないか。

多くのおかげさまのうちに、お稚児さんも出せる運びとなったこの喜びは格別なものだ。この幼子一人ひとりの心にも、きついつかはお念仏の声が届く日が来ることだろう。

△▽

念仏の生まれる生活を共に

落慶法要 親鸞聖人七百五十回御遠忌

期 日 平成二十五年四月二十八日(日)

午 前 落慶法要
午 後 御遠忌法要



今年の飛龍梅
と三月十五日(金)
掲載の新聞記事。

今年の満開は三月十日前後でした。意外にも平年並みでのライトアップ(九日)も多くの方に楽しんでいただけたものと思っています。



日程の詳細

役員集合・打ち合わせ

午 前

八時三十分〜 受付

九時三十分〜 落慶法要

十時三十分〜 感謝状(株式会社カメ様)

十時四十五分〜 光受寺合唱団仏教賛歌披露

十一時

十一時〜十二時 お齋

稚児行列の準備に充てる時間です。

午 後

十三時 申し経(稚児宿にて)

十三時〜 三輪久郎

十三時三十分 臼井敬一 郎

十三時三十分〜 稚児行列

十五時〜 七百五十回忌御遠忌法要

十六時〜 住職・総代挨拶

十七時〜 後片付け

十七時半 住職・総代挨拶

ウド鈴木さんの訪問もあつて。

三月十九日(火) 突然のご訪問でした。

梅を観たり、本堂内でお参りをしたりしていただいたりの約三十分ほどでした。御遠忌前日の四月二十七日(土)「旅してゴメン」九時半〜放送予定ですが、御遠忌に花を添えていただけました。